

日本国際政治学会 2010 年度研究大会のご案内

初秋の候、会員各位におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、今年度の日本国際政治学会研究大会を下記の通り、札幌コンベンションセンターにて開催いたします。

今回の大会の共通論題ではいわゆる「密約」問題について討論が行われるほか、エズラ・ボーゲル先生をお招きして、冷戦時の同盟に関する国際部会も開催される予定です。恒例の日韓合同部会でも日米・日韓同盟が再検討されます。またすっかりおなじみになりました市民公開講座では、国際関係論における NGO 研究と題して、最新の研究成果が一般市民にわかりやすい形で提供されると期待しております。それでは皆様のお越しを心よりお待ちしております。

なお、下記のプログラムは 8 月 16 日現在の暫定的なものであり、確定版プログラムでないことをご了承ください。

2010 年 9 月 1 日

財団法人日本国際政治学会理事長

田 中 明 彦

記

日時：2010 年 10 月 29 日（金）～ 10 月 31 日（日）

会場：札幌コンベンションセンター

〒003-0006 札幌市白石区東札幌 6 条 1-1-1

電話：011-817-1010

URL：<http://www.sora-scc.jp/>

2010 年度大会 共通論題・部会プログラム

10 月 29 日（金）

受付開始 12:30

29 日（金）午後の部会 13:00～15:30

部会 1 「経済大国化」と日本外交の新局面

司会：五百旗頭真（防衛大学校）

報告：井上正也（香川大学）

「日本政府の 1970 年代アジア秩序構想」

中島琢磨（西南女学院大学／日本学術振興会）

「沖縄返還と日米安全保障関係の新展開」

白鳥潤一郎（慶應義塾大学）

「第一次石油危機における日本外交・再考」

討論：河野康子（法政大学）

潘 亮（筑波大学）

部会 2 比較のなかの「併合」経験

司会：等松春夫（防衛大学校）

報告：上田知亮（京都光華女子大学）

「イギリスのインド併合を当事者はどう観たか」

奈良岡聰智（京都大学）

「イギリスから見た韓国併合」

梶原克彦（愛媛大学）

「大戦間期オーストリアと独逸合邦問題」

討論：君塚直隆（神奈川県立外語短期大学）

河原祐馬（岡山大学）

部会 3 地域安全保障構造をめぐる新たな潮流

司会：福島安紀子（国際交流基金）

報告：坪内 淳（山梨大学）

「地域安全保障の新たな分析枠組の可能性」

浦部浩之（獨協大学）

「米州における地域安全保障構造の変化—ラテンアメリカ諸国による対米自立の模索」（仮題）

望月克哉（アジア経済研究所）

「アフリカにおける新たな地域安全保障構造」

討論：添谷芳秀（慶應義塾大学）

鶴岡路人（防衛研究所）

部会 4 地域からの帝国論—比較史と現在

司会：林 忠行（北海道大学）

報告：岡本隆司（京都府立大学）

『主権』の形成—20 世紀初の中国とチベット・モンゴル」

森まり子（東京大学）

「民族自治から主権国家へ—帝国解体期のシオニズム運動における民族分離主義の変容 1881 - 1948」

宇山智彦（北海道大学）

「グレートゲーム再考—中央アジアにとっての帝国間競争の意味」

討論：川島 真（東京大学）

部会 5 仲間作りの国際政治学

司会：猪口 孝（新潟県立大学）

報告：樋渡展洋（東京大学）

「世界不況下の経済政策協調の国際的・国内的基礎」

太田 宏（早稲田大学）

「国際環境における連携と制度選択」（仮題）

毛利勝彦（国際基督教大学）

「国際貿易における協調と制度共生」

討論：山本吉宣（青山学院大学）

大芝 亮（一橋大学）

羽場久美子（青山学院大学）

分科会セッション A（15:45～17:15）別掲

分科会セッション B（17:30～19:30）別掲

10 月 30 日（土）

受付開始 9:00

30 日（土）午前の部会 9:30～12:00

部会 6 Cold War Alliances : East and West

Moderator : David Wolff (Hokkaido University)

Special Invitation Speaker : Ezra Vogel (Harvard University)

“Deng Xiaoping and New Alliances, 1978 - 1989”

Speakers : Vojtech Mastny (National Security Archive)

“The Ending of the Cold War and Its Alliances : How Much Did They Matter?”

Yasuhiro Izumikawa (Chuo University)

“Statecraft, Balance of Power Theory, and Alliance Politics in Cold War East Asia”

Discussant : Futoshi Shibayama (Kwansei Gakuin University)

部会 7 国際制度分析の再考

司会：篠原初枝（早稲田大学）

報告：内記香子（大阪大学）

「ソフトロー研究の現在—ソフトローの選択、影響の仕方、実効性の観点から」

三浦 聡（名古屋大学）

「グローバル企業市民の構成—制度起業家と制度的フィールド」（仮題）

足立研幾（立命館大学）

「対抗レジーム間の調整に関する一考察」

討論：河野 勝（早稲田大学）

山田 敦（一橋大学）

部会 8 地域主義の展開と国家主権の変容

司会：菊池 努（青山学院大学）

報告：坂井一成（神戸大学）

「EU 統合下での地域の形と国家主権の位相」

鈴木早苗（アジア経済研究所）

「ASEAN における国家主権の尊重と民主主義の推進」（仮題）

阪本拓人（東京大学）

「脆弱な国家の『地域主義』—アフリカの角における国家主権と地域協調」（仮題）

討論：遠藤 貢（東京大学）

八十田博人（共立女子大学）

部会 9 リスボン条約発効に至る道

司会：吉武信彦（高崎経済大学）

報告：田中俊郎（慶應義塾大学）

「ニース条約からリスボン条約へ」

小久保康之（東洋英和女学院大学）

「アイルランドのリスボン条約批准プロセス」

矢田部順二（広島修道大学）

「チェコ共和国にとってのリスボン条約」（仮題）

渡邊啓貴（東京外国語大学）

「リスボン条約とフランス」

討論：森井裕一（東京大学）

部会 10 「新しい ASEAN」の政治—その理念と現実

司会：田村慶子（北九州市立大学）

報告：勝間田弘（早稲田大学）

「規範とリーダーシップ—なぜ ASEAN は、東アジア共同体づくりを主導できる

のか？」

五十嵐誠一（千葉大学）

「ASEAN 共同体形成におけるトランスナショナルな市民社会の地平」

臼井陽一郎（新潟国際情報大学）

「ASEAN 共同体の形成と持続可能な発展の言説—EU との比較を通じて」

討論：須藤季夫（南山大学）

首藤もと子（筑波大学）

部会 11 平和構築と治安部門改革（SSR）—安全保障と開発の相克

司会：星野俊也（大阪大学）

報告：吉崎知典（防衛研究所）

「安全保障から見た治安部門改革」

藤重博美（法政大学）

「開発から見た治安部門改革」

上杉勇司（広島大学）

「平和構築における治安部門改革（SSR）の理論と現実—包括的アプローチと段階的アプローチの相克」

討論：青井千由紀（青山学院大学）

橋本敬市（国際協力機構）

部会 12 U.S. Bilateral Alliances in East Asia 【日韓合同部会】

Moderator : Kim Euikon (Inha University : President of the Korean Association of International Studies)

Speakers : Cho Yun Young (Chung-ang University)

“R.O.K - U.S. Alliance”

Chikako Kawakatsu Ueki (Waseda University)

“U.S. - Japan Alliance at 50 : Achievements and Challenges”

Discussants : Kim Seokwoo (University of Seoul)

Masaaki Gabe (University of the Ryukyus)

分科会セッション C（13:30～15:10）別掲

総会 15:10～15:40 大ホール

共通論題 「密約」問題—外務省有識者委員会の報告書をめぐって

15:40～18:30 大ホール

司会：久保文明（東京大学）

報告：北岡伸一（東京大学）『密約』の政治力学」

佐々木卓也（立教大学）「アメリカの世界戦略と日本」

坂元一哉（大阪大学）「安保条約と事前協議—『密約』とは何か」

春名幹男（名古屋大学）「朝鮮半島有事の米軍出撃に関する密約に関して」

河野康子（法政大学）「沖縄の核再持込みに関する合意について」

波多野澄雄（筑波大学）①『密約』調査と外交記録の公開」

②「沖縄返還と『議論の要約』について」

討論：我部政明（琉球大学）

滝田賢治（中央大学）

懇親会 ＜時間 19:00～20:30＞ 大ホール

10月31日（日）

受付開始 9:00

分科会セッション D（9:30～11:00）別掲

分科会セッション E（11:15～12:45）別掲

31日（日）午後の部会 14:00～16:30

部会 13 1950 - 60 年代アジア国際秩序と国際援助計画—コロンボ・プランを中心に

司会：菅 英輝（西南女学院大学）

報告：秋田 茂（大阪大学）

「コロンボ・プランの変容とスターリング圏—1950 年代後半～60 年代初頭」

吉田 修（広島大学）

「開発援助のはじまり—インド、コロンボ・プラン、世界銀行」

山口育人（帝京大学短期大学）

「戦後アジア政治・経済秩序の展開と極東アジア経済委員会（ECAFE）

1947 - 1965 年」

波多野澄雄（筑波大学）

「コロンボ・プランと日本—1960 年東京協議委員会を中心に」

討論：宮城大蔵（上智大学）
平野克己（アジア経済研究所）

部会 14 日本におけるリアリズムの伝統とその足跡

司会：猪口邦子（参議院議員）
報告：土山實男（青山学院大学）
「国際政治理論から見た日本のリアリズム」（仮題）
中西 寛（京都大学）
「ヨーロッパの知的伝統と日本のリアリズム—高坂正堯の場合」
納家政嗣（青山学院大学）
「日本の戦後体制と現実主義『思想』」（仮題）
討論：藤原帰一（東京大学）
岡垣知子（防衛研究所）

部会 15 ユーラシア地域大国の安全保障戦略

司会：石井 明（東京大学）
報告：中野潤三（鈴鹿国際大学）
「『多極世界』の中のロシア」
毛利亜樹（同志社大学）
「拡大する中国の戦略的空間—海洋安全保障を中心に」
伊豆山真理（防衛研究所）
「インド軍の国際的活動—グローバルな役割分担を求めて」
討論：斎藤元秀（杏林大学）
高木誠一郎（青山学院大学）
広瀬崇子（専修大学）

部会 16 国際関係論（国際政治学）における NGO 研究—現状と課題を中心に

【兼・市民公開講座】

司会：大島美穂（津田塾大学）
報告：阪口 功（学習院大学）
「日本のソフトパワーと環境外交—ローカル環境主義と NGO の役割」
林 明仁（東京大学）
「NGO によるアドボカシーとネットワークの内的環境—軍縮・軍備管理領域の
NGO を事例に」
金 敬黙（中京大学）
「なぜ反戦運動は戦争を止めることができないのか—社会運動と NGO が抱く動機、

用いる戦略、そしてインパクトの比較」

討論：船田クラークセンさやか（東京外国語大学）

高柳彰夫（フェリス学院大学）

部会 17 国際関係研究の新たな潮流（自由論題部会）

司会：遠藤 乾（北海道大学）

報告：塚田鉄也（京都大学）

「ヨーロッパの構築における他者としてのアメリカーEU の正当化の危機との関連から」

片柳真理（国際協力機構）

「平和構築における選挙と帰還の関連に関する考察ーボスニア・ヘルツェゴビナを例に」

佐藤尚平（オックスフォード大学）

「帝国主義と主権国家体制の変容ーイギリス帝国と『中東』の創造を手がかりに」

劉 仙姫（京都大学）

「朴正熙の朝鮮半島における平和体制構築構想」

討論：児玉昌己（久留米大学）

月村太郎（同志社大学）

松尾昌樹（宇都宮大学）

李 鍾元（立教大学）